

環境保全のための私たちの努力

1 自治体名	大韓民国忠清南道
2 発表者名（所属名）	イ ダへ(公州女子中学校)
3 活動名	環境保全のための私たちの努力
4 活動期間	2005年3月1日～
5 活動場所	忠清南道公州市公州女子中学校
6 活動参加人数	「青い森を守る人々の会」18人

7 活動をはじめた経緯

2004年度から山林庁の行政支援とユハンキンバリー(株)の財政支援を受けて学校の森作り活動を始めました。学校の森を美しく保全するためには、生活系のごみがさまたげになると思いましたので学校の森の環境保全活動を始めました。

8 発表要旨

西ヨーロッパの大気汚染が東ヨーロッパに影響を及ぼして、中国の砂漠化が朝鮮半島に黄砂現象の原因となっています。このような事から環境問題と言うのは一部地域の問題だけではなく全地球的な問題であり、それを解決するには、まず、私達の身の回りから始めなければならないと思います。それで、ここでは私達の学校で実施したいろいろな環境保全活動事例を紹介します。

(1) 環境保全教育

- ① 環境掲示板：すべてのクラスに環境掲示板を作り、環境関連の各種情報を紹介しながら環境保全の意識を高揚させました。
- ② 環境家庭通信文の発送：臨時に家庭通信文を発送し、ごみの排出抑制及び分別回収、廃品のリサイクル方法などを知らせ、子供と一緒に環境保全運動に参加するように呼びかけました。
- ③ 環境に関連した授業の実施及び作品展覧会の開催：環境を題材とした授業、環境新聞の製作、廃品の活用方法を教える授業を実施し、また、活用事例を学校の学園祭の時に展示することで環境保全の意識をさらに強化させました。

(2) ごみの分別回収

一般ごみ、空瓶類、空き缶、紙類などを分別回収できるように収集箱を設置しました。またそれらのリサイクル分別品はトイレットペーパーに交換し、学校のトイレで使うことによって、ごみの分別回収の効果や資源の大切さを理解できるようにしました。

(3) 後輩に制服や体操着を譲ること

卒業する先輩が制服と体操着を後輩に譲ることによって資源の節約だけでなく先輩と後輩との暖かい友情を交わすことができました。

(4) フリーマーケット

読み終わった本、参考書、服、アクセサリなどを学校の運動場に持ち寄り、フリーマーケットを開いて、そこで得られた収入を全額社会福祉施設に寄付しました。資源の節約だけではなく、人を助けられる一石二鳥の活動でした。

(5) 環境保全のための社会貢献活動に参加する

- ① 学校の周辺清掃：毎月2回、各クラスの当番が学校周辺のごみを収集する社会貢献活動を実施しました。
- ② 金剛山の清掃活動の実施：公州海兵戦友隊が主催する金剛山の清掃活動に参加しました。学校で学んだ環境学習を実践する良い機会でした。また、活動に参加することで水質汚濁とごみの不法投棄の実態をも確認することができ、自分の生活を見直す良い契機にもなりました。

(6) 生ごみの減量及びリサイクル

学校の給食に出る生ごみは最大限に減らし、それでも発生する生ゴミは学校の畑で堆肥として活用しました。さらに調理の際に発生した油から無公害のせっけんを作りました。

(7) 学校の森づくり

自分の木をひとつ選定して学校内の森を造成し育てること、観察日記を書くこと、学校内にある木や花の名前をあてるクイズ大会、畑や花壇づくり活動など多種多様な学校の森づくり活動を通して環境保全の意識と環境にやさしい心を培う事が出来ました。

近年、私たちが直面している環境問題は、私たちの皆が関心を持たなければならないくらい深刻となっています。そしてこの環境問題の解決は、幾人あるいはいくつかの国家で責任を負うことで解決できる問題でもありません。このため、環境に対する正しい知識を全世界に住んでいる人々に知らせることが大切だと思います。

私たちの学校では、環境問題について学習し、ごみを減らしてそれでも出るごみについてはリサイクルする生活習慣を育てようと様々な活動を実施しています。このような活動は学校のみならず家庭及び地域社会でも一緒に行わなければなりません。また父母及び地域社会での高い環境保全意識と努力が、学校での環境学習と調和をした時、その効果は一層高まり、環境問題に対する私たちの小さな努力はやがては全地球的な環境問題を緩和することにもなるでしょう。

9 活動結果

当初「青い森を守る人々の会」18人を中心に始めた活動が、しだいに全校生徒へと広まり、美しい学校の森が保全されるなど様々な環境保全活動が自主的に実施されるようになりました。